

受入先	NPO 法人 穎娃おこそ会
役職	
隊員氏名	小野寺 宗貴
着任日	令和 5 年 7 月 1 日

活動月	令和 5 年 12 月（着任 0 年 6 カ月目）
主な活動	1 JR 指宿枕崎線を活かしたまちづくりプロジェクト 会議参加 2 地域の魅力発見！プロジェクト フィールドワーク参加

1. JR 指宿枕崎線を活かしたまちづくりプロジェクト 会議参加

南九州市で開催された JR 指宿枕崎線を活かしたまちづくりプロジェクト第三回会議に参加しました。

参加メンバーから指宿枕崎線を活かすためにこうしたいというアイデアを募って、グループになって討議、発表することを行いました。

指宿枕崎線のありかたを自分視点で考えて、まちづくりにつなげていく。

参加者からは、自分だったらこうしたい、というアイデアが多く出てきており、アイデアを実現するためにはどのようなことが必要か、ということまで踏み込んだものとなりました。

指宿枕崎線を活かしていく、自動車での移動が多い中でこのような取り組みは意味があるのか、と思われる方もいるかと思えます。

移動手段の選択肢が減ってしまうと、様々な用事を済ませるときに不便さが増していく、そして新たな不便が生じる。また、自動車免許を持たない方々の移動手段が減ることで、そのような方たちがまちを訪れなくなる。

このように考えて、この会議だけでなく、これからも取り組んで参ります。



2. 地域の魅力発見！プロジェクト フィールドワーク参加

南九州市の3地区（穎娃、川辺、知覧）の魅力は何か、どこに魅力を感じるのか。子どもたちの視点で発見してみよう。そして、地域間交流を深めるとともに、歴史・文化・産業等の伝承につなげていこう。という目的で開催されたフィールドワークに同じ地域おこし協力隊の中村さんとともに参加しました。

フィールドワークということや、子どもたちと一緒に行動するのは初めての経験でしたが、事前に行われたワークショップで、行きたい場所を元気に調べてくれる子どもたちを見て、一緒に南九州市の魅力は何かを探してみたい、と思いました。

鉄道の通っていない川辺、知覧地区に行く機会があまりなかったのですが、フィールドワークを通じて、それぞれの地区が持つ特徴や魅力を肌で感じることができました。

当日は曇り。訪問場所は野外が多かったので、天気が急変しないかヒヤヒヤしましたが、子どもたちの明るく元気な姿と笑顔で時折晴れ間が見えて、ホッとしました。

鉄道沿線だけに注目していましたが、このワークを通して、様々な場所を結びつけることができること、その大切さを学びました。

鉄道を起点に南九州市が持つ魅力ある場所を結びつける手段や方法はないか、を考える良い機会となりました。

開催に際し、多大なるご尽力をいただきました方々、そして一緒に魅力を発見していただいた参加者に、この場を借りて感謝申し上げます。

ありがとうございました。

